

平成 27 年 12 月 1 日 (火)
島根県立大学 (浜田キャンパス)
総合政策学部 金野研究室
担当者：准教授 金野和弘 (こんのかずひろ)
電 話：0855-24-2260

浜田市立浜田東中学校の生徒を対象とした公民館活動の実施について

島根県立大学の金野研究室(3年生12名)は現在、島根県教育庁社会教育課とともに、若者の公民館利用の促進に向けた取り組みをしております。本年度は国府公民館と連携をさせていただき、若者に公民館をより利用してもらうためのイベントを企画・実施しております。今回はその取り組みの1つとして、同公民館で毎年開催している「クリスマスお楽しみ会」に中学生が参加および活動補助をしていただく事業を企画しました。イベントの概要は下記の通りです。

○日時：2015(平成27)年12月5日(土) 9:30~11:30

○会場：国府公民館(浜田市国府町)

○目的：公民館活動に参加する機会があまりない中学生に部活動単位で公民館活動に参加してもらうことで、今後の公民館利用の促進に繋げること。

○本事業の対象となる中学生：浜田市立浜田東中学校の陸上部および美術部に所属する生徒約20名

○「クリスマスお楽しみ会」の次第：

(1) 開会挨拶、自己紹介など

(2) レクリエーション(国府小学校の児童、浜田東中学校の生徒が主な参加者として、弊学BBSサークル所属の学生および金野研究室所属の学生がサポートする。金野研究室が企画)

(3) メインイベント(内容はBBSサークルが現在検討中(前年度はクリスマスケーキのデコレーションを実施)。浜田東中学校の生徒は参加および活動補助を行なう)

○参加主体：「クリスマスお楽しみ会」の主催者：国府公民館

「クリスマスお楽しみ会」の主たる参加者：国府小学校の児童(50名前後(現在募集中))

「クリスマスお楽しみ会」の主たる企画・運営：弊学BBSサークル(約8名)

参加者および活動補助：浜田市立浜田東中学校の陸上部、美術部所属の生徒(約20名)

中学生参加事業の企画およびレクリエーションの企画：金野研究室の学生(12名)

※ クリスマスお楽しみ会は、国府公民館主催で毎年開催されているイベントです。参加者は国府小学校の児童で、毎年、弊学BBSサークルが会の企画や運営を行なっております。

※ 中学生に部活動単位で公民館活動に参加していただく事業は、来年度以降も継続して実施することを検討しております。本年度は今回を含め2回実施することを予定しています(次回は1月31日)。

○問い合わせ先： 島根県立大学総合政策学部 金野研究室 担当教員：金野和弘(こんのかずひろ)
〒697-0016 島根県浜田市野原町2433-2 島根県立大学 講義研究棟309研究室
電話：0855-24-2260(研究室直通) E-mail：k-konno@u-shimane.ac.jp

公民館事業企画書

テーマ	浜田市立浜田東中学校部活動加入生徒を対象とした公民館活動
目的	若者（中学生）の公民館活動の参加促進
概要	国府公民館の小学生対象の活動に、浜田市立浜田東中学校生徒に部活動単位で参加していただき、小学生及び地域住民と交流を行う。 中学生は①小学生の活動の補助及び②活動への参加を行う。
企画背景	島根県社会教育課では若者の地域活動への関心・参加を促すため、公民館において若者を対象とした地域活動につながる取り組みを実施している。今年度はこの取り組みの1つを島根県立大学金野ゼミと連携して実施することになった。島根県立大学でも地域貢献・地域連携を推進する取り組みを行っている。そして浜田市の公民館でこの取り組みを実施する国府公民館が対象となった。国府公民館を対象とした理由は、他の公民館と比較し、活動が活発であるからである。国府公民館に上記の主旨を説明した所、快諾していただいた。国府公民館では現在若者（中学生から50歳代）の参加率が低下している。そのため事業の目的を上記のように設定した。そして事業の対象者を浜田市立浜田東中学校の部活動に加入している生徒とした。
対象者	浜田市立東中学校の部活動に加入している生徒137人 *部活動：野球、陸上、男女テニス、バレー、バスケ、吹奏楽、美術
実施予定日 (今年度)	平成28年1月までの期間中、計二回実施予定 *予定日12月5日（クリスマスお楽しみ会） 1月31日（ペタンク教室）
工程表	別紙参照
期待される効果	<p><中学生></p> <ul style="list-style-type: none"> ・活動を通して公民館活動に ・活動に参加することで他の公民館活動や地域に出るきっかけが生まれる ・公民館行事に（半強制的ではあるが）参加できる ・一人の生徒の参加回数が年に一度のため負担が小さい ・小学生や地域住民に部活動の内容を認知してもらえる ・企画を行うことによって中学生に自主性が生まれる <p><先生、東中学校></p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域と学校の距離が縮み、地域との連携がより円滑になる ・小学生が部活動の様子を知ることができ、中学進学時に部活動に入部するきっかけが生まれる <p><小学生></p> <ul style="list-style-type: none"> ・中学校の様子を知ることができる <p><国府公民館></p> <ul style="list-style-type: none"> ・若者の公民館活動への参加率向上 ・他地域へのモデル提唱が可能となる

<p>当日発生する想定されるアクシデントとその対応</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ケガをした場合 ➡公民館保険 ・天候不良（台風など） ➡実施可能かどうかの判断は公民館にさせていただく
<p>目標、目指すべき将来像</p>	<p>1年後：①生徒が積極的に部活動を通じた公民館活動に参加する②国府地域が中学生が公民館活動に参加することが普通、といった環境になる。</p> <p>3年後：①活動が中学生だけでなく、地域の他の団体（ママさんバレー等）とも行うようになる②小学生時代に活動を経験した生徒が中学生になり、小学生に教えるというサイクルができる。生徒が部活動以外で公民館活動に参加するようになる</p> <p>5年後 国府での取り組みが他地域へのモデルとなる。中学生（若者）が積極的に公民館行事に参加できるような組織、仕組みができる。</p>
<p>役割</p>	<p><中学生></p> <ul style="list-style-type: none"> ・活動への参加・企画提案・事後アンケートの記入 <p><東中学校教員></p> <ul style="list-style-type: none"> ・当日の参加、ゼミ、公民館との打ち合わせ・中学校内での生徒・保護者に向けた通知、報告 <p><小学生></p> <ul style="list-style-type: none"> ・活動への参加 <p><公民館></p> <ul style="list-style-type: none"> ・活動の主体的運営・日程調整・場所の提供・広報活動 <p><金野ゼミ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・部活動見学・活動補助（対中学生） ・アンケート、報告書類のフォーマットづくり・アンケートの回収、記録、集計・報告書作り